

## それあ〜ど(生活介護) 自己評価表

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	4		・現時点では、スペースに余裕があるが、定員数に対してはやや狭い為、工夫等が必要となってくると、思われる。 ・その日の利用者人数に応じて、適切な配置を考えている。
	② 職員の配置数は適切であるか	4	2		
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	2		・車椅子用の洗面台があると、利用者さんが自ら手等、洗いやすくなり、行動範囲が広がると思う。
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	2		・定期的話し合いが行われている。 ・ミーティングが行われている。 ・ミーティングの定期開催で支援に関しての目標や振り返りは行うようにしている。 業務改善に関しては、もう少し話し合いが必要。
	⑤ 家族等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1		
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	3		
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1	1	・法人内評価制度が新たに導入され始めている。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1		・研修を行っている。
	⑨ アセスメントを適切に行い、利用者と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	5	1		
適切な支援	⑩ 利用者の適応行動の状況を図るために、標準化させたアセスメントツールを使用しているか	6			
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2		・正社員内にとどまっている事が多い。生活介護と放デイの連携はとっている。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1		
	⑭ 利用者の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			・個別での関わり、集団での関わり、いずれもできる限り活動内容に組み込めるよう工夫している。

提 供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			・その日の担当を決めて、始業前に確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	4		・自身の業務終了が13時までの為、必要に応じて引継ぎを行っている。 ・職員によって始業時間が異なる為、その日には振り返る事が難しいが、後日に共有できている。 ・翌日の打合せ時に、気づいた点の共有等は行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			・一人一人が気づいた事を記録する様に心がけている。 ・パートの方にも、支援記録を書いてもらい、利用者さんへの支援での気づきの共有がでやすくなっていると思われる。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、計画の見直しの必要性を判断しているか	6			・定期的に保護者に聞きとりを行っている。 ・⑱～⑳は自分が直接的には実行していないが、責任者や主任から情報を提供してもらい、共通意識を持って、業務に取り組んでいる。
	㉑	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	2		・自身のガイドラインの総則の基本活動に関しての理解が不十分→理解が必要
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	㉒	相談支援事業所のサービス担当者会議にその利用者の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1		・サービス担当者会議への参画があまりできていない状況。相談支援員さんとは必要に応じて適宜、サビ管と現場主任が話し合いを行っている。
	㉓	医療的ケアが必要な利用者を受け入れる場合は、利用者の主治医等と連絡体制を整えているか	5	1		・現在は主に保護者を介しての連携となっている為、今後は保護者に負担がかからない様な体制作りを考えたい。 ・分からないが、担当者が対応していると思う。
	㉔	学校や就学時に利用していた放課後等デイサービス等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1		・利用開始時に情報共有は努めているが、利用開始後はあまり、情報共有できていない為、必要時はもう少し連携をとれるよう工夫が必要。
	㉕	他事業所との連携に努めているか	4	2		・もう少し連携や情報共有ができるよう工夫が必要。
	㉖	発達医療センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	2		・発達医療センター内の生活介護施設の方には機会をみて助言を頂いている。もう少し研修等に積極的に参加したい。
	㉗	同世代の方たちとの交流や障害のない方と活動する機会があるか	5	1		・ボランティアの方が定期的に来てくれている。 ・ボランティアさんに積極的に参画頂き、利用者さんとの交流の機会を設けている。
	㉘	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	2	2	・事業所として参加し、話し合った内容をミーティング等で共有している。
	㉙	日頃から利用者の状況を家族と伝え合い、利用者の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			・送迎の時に毎回情報交換を行っている。

	⑳	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2	1	・わからない。 ・自身がペアレントトレーニングへの理解が不十分→理解が必要
保護者への説明責任等	㉑	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			・変更があった場合も、その都度丁寧に説明を行っている。
	㉒	家族からの悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			
	㉓	父母の会の活動を支援したり、交流会等を開催する等により、家族同士の連携を支援しているか	5	1		
	㉔	利用者や家族からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、利用者や家族に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			
非常時の対応	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用者や保護者に対して発信しているか	5	1		・ブログで活動内容の発信は行っている。行事予定は夏休み等は発信しているが、もう少し定期的に発信できるとよいと思われる。
	㉖	㉗ 個人情報に十分注意しているか	6			
	㉘	障害のある利用者や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6			・慰問やボランティアの募集等は広く行っている。
	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1		
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			
非常時の対応	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			
	㉝	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、利用者や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載し	6			
	㉞	食物アレルギーのある利用者について、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1		
	㉟	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			